

Memories & Records

Yoshitaka Watanabe

Field Notes

記録と記憶

渡邊義孝 旅のフィールドノート展

五十二ヶ国、二十七冊の旅日記が語るもの



再生の軌跡

Renovating Process of Onomichi Gaudi House 尾道ガウディハウス再生までのプロセス

2017年
11月4日(土)~12月3日(日)
会期中の土日祝 11:00~17:00 入場料 300円
※再生資金に使われます。

通称尾道ガウディハウス

主催 NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト お問い合わせ 080-6323-9921 メール: kenchiku@onomichisaisei.com

記録と記憶

渡邊義孝 旅のフィールドノート展

五十二ヶ国、二十七冊の旅日記が語るもの

「記録されたもののみが記憶される」

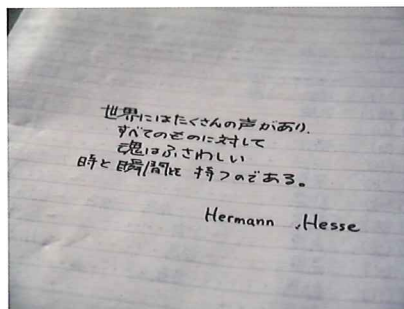
これは旅する民俗学者、宮本常一の言葉です。彼はノートを大切にし、膨大な記録を生涯に残しました。

旅で出会ったひと、建築、風景、自然、食など、さまざまな事柄をノートに記録する。NPO法人尾道空き家再生プロジェクト理事でもある建築家・渡邊義孝氏もそんな営みを続けるひとりです。

肉体労働者を経て東京神楽坂のアトリエ系設計事務所に入った彼は、二年間無給で修行します。そんな中、所長から課されたのは「一年のうち三ヶ月は外国へ行け。そのための旅費は支給する」というルールでした。その際の条件は「毎日絵を描くこと、ノートをつけること」。

一九九四年の中国を皮切りに、以来二十四年の間に訪ねた国は五十二ヶ国。フィールドノートは約三十冊になりました。著書『風をたべた日々〜アジア横断旅日記』（日経BP社）は、そんなノートから生まれました。

高山病に倒れたチベット高原、肺炎で入院した中国青海省、血響の因習に触れたアルバニア。人も建築も美しかったシリア。日式建築を訪ね続けた台湾……。ノートに刻まれた建築と人の暮らし。その内容を初めて公開する展覧会です。



渡邊義孝 (わたなべよしたか)

1966年生まれ。一級建築士。尾道市立大学非常勤講師。NPO法人尾道空き家再生プロジェクト理事。日本民俗建築学会正会員。風組・渡邊設計室主宰。1994年から「おのみち旅大学」講師を15年間務める。ユーラシア、特にバルカン半島・コーカサス等、いわゆる辺境とされる地を訪ね、人びとの生活の記録を続けている。著書に『風をたべた日々〜アジア横断旅日記』、共著に『セルフビルド/家をつくる自由』がある。



同時開催

再生の軌跡

Renovating Process of Onomichi Gaudhi House 尾道ガウディハウス再生までのプロセス

尾道における空き家再生のシンボルとして駅裏三軒家町の坂の途中に建つ通称尾道ガウディハウス。別邸として1933年に建てられ、2007年に25年の時を経て風穴が開けられて以降、再生のプロセスを共有しながら、様々なイベントを同時進行で開催してきました。着工から10年。来春のグランドオープンを目前に再生最終段階でオープンハウスを行い、これまでの再生の軌跡を振り返る企画です。



関連企画

トークイベント

「再生の軌跡〜記憶と風景〜」

登壇者
小野環 片岡八重子 豊田雅子
新田悟朗 真野洋介 渡邊義孝



11月4日(土) 開場 17:00~ 開会 18:00~
会場 松翠園大広間 入場無料

再生途中の駅裏の元旅館「松翠園」の隣の50畳の大広間で今までの再生の軌跡を語るトークイベントです。
※再生中の現場なので暖かい服装でお越しください。



通称尾道ガウディハウス
〒722-0031 尾道市三軒家町9-17 *JR尾道駅北口より徒歩2分
松翠園大広間
〒722-0032 尾道市西土堂町1-12 *JR尾道駅北口より徒歩1分